

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
1	普通科	アドバンス	化学基礎	3	牧
担当者(担当クラス)		牧(4組)			
この科目を履修するための条件や準備					
教科書・ノートを必ず用意すること。 日常生活の中で化学がどのように活かされているかについて興味・関心を持つこと。					
この科目のねらい 目標					
物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなど通して、物質とその変化を科学的に探求するために必要な資質・能力の育成を目指す。					
具体的な指導方法					
ノートに板書の内容を記入させ、教科書にある問題を随時解かせる。 ノートチェックは定期考査前に行う。ただし抜き打ちで提出させる場合もある。					
使用教材					
使用する教科書			使用する副読本		
・改訂版 新編 化学基礎(数研出版)			・三訂版 フォトサイエンス 化学図録(数研出版)		
評価方法					
定期考査(年間5回)・平常点(授業態度・提出物・宿題の取り組みなど)で総合的に判断する。					
年間授業計画					
I. 1学期中間考査まで ※4. 5月の課題及び1学期期末考査後の補充授業で対応					
第1編 物質の構成と化学結合					
第1章 物質の構成		第2章 物質の構成粒子			
①混合物と純物質		①原子とその構造			
②物質とその成分		②イオン			
③物質の三態と熱運動		③元素の周期表			
II. 1学期期末考査まで					
第3章 物質の結合					
①イオン結合とイオンからなる物質		③共有結合結晶			
②分子と共有結合		④金属結合と金属			
III. 2学期中間考査まで					
第2編 物質の変化					
第1章 物質質量と化学反応式					
①原子量・分子量・式量		③溶液の濃度			
②物質質量		④化学反応式と物質質量			
IV. 2学期期末考査まで					
第2章 酸と塩基の反応					
①酸・塩基		③中和反応			
②水の電離と水溶液のpH		④塩			
V. 学年末考査まで					
第3章 酸化還元反応					
①酸化と還元		③金属の酸化還元反応			
②酸化剤と還元剤		④酸化還元反応の利用 -電池・金属の製錬-			